



令和7年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年2月6日

上場会社名 コンピューターマネージメント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4491 URL <https://www.cmknet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹中 英之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 吉田 徹 TEL 050 (3508) 9000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第3四半期の連結業績（令和6年4月1日～令和6年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	5,822	9.6	353	5.7	365	7.2	241	3.3
6年3月期第3四半期	5,311	5.1	334	0.5	340	0.9	234	2.0

(注) 包括利益 7年3月期第3四半期 256百万円 (△4.3%) 6年3月期第3四半期 267百万円 (13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	118.86	117.71
6年3月期第3四半期	115.12	114.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期第3四半期	4,864	3,372	69.3
6年3月期	4,748	3,197	67.3

(参考) 自己資本 7年3月期第3四半期 3,372百万円 6年3月期 3,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
7年3月期	—	0.00	—	—	—
7年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和7年3月期の連結業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	8.4	465	8.9	474	9.1	330	0.8	162.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年3月期3Q	2,036,200株	6年3月期	2,036,200株
② 期末自己株式数	7年3月期3Q	257株	6年3月期	216株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	7年3月期3Q	2,035,962株	6年3月期3Q	2,033,961株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高により低迷が続いていた個人消費は足元で持ち直しの動きがみられ、企業の設備投資額も増えインバウンド需要も増加基調と、緩やかな回復傾向が続いております。一方で、人手不足感は高まり続けており、米国新政権の政策不透明感や中国経済の成長鈍化、地政学リスクの深刻化などの景気の下振れ材料も多く、先行き不透明な状況は続く見込みです。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、企業の積極的なIT投資意欲は依然として高く、全産業で人材不足を補うためのデジタル化や生成AI、DX、クラウドサービスなどの需要が拡大しており、堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、ゼネラルソリューションサービス、インフラソリューションサービス、ERPソリューションサービスのサービスラインにおいて、新規顧客からの受注拡大、既存顧客との取引拡大、高収益案件の受注拡大により収益の伸展を図り、多種多様な案件を数多く手掛けてまいりました。今後も堅調な受注と安定的な収益確保のため、引続き営業力の強化による顧客基盤の拡大、IT業界の構造変化に合わせたサービス提供力の向上、動員力強化（人材の積極的な採用・育成・定着、ビジネスパートナーの増員・連携深化）を重点課題として取り組んでまいります。

なお、当社グループはシステムソリューションサービスの単一セグメントではありますが、システムソリューション別の概況については以下のとおりであります。

(単位：千円)

	ソリューション別売上高		前年同期比 (%)
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	
ゼネラルソリューションサービス	3,499,855	3,869,438	110.6
インフラソリューションサービス	1,062,093	1,131,059	106.5
ERPソリューションサービス	750,020	821,596	109.5
計	5,311,970	5,822,093	109.6

① ゼネラルソリューションサービス

ゼネラルソリューションサービスにつきましては、エンドユーザービジネス、BPOビジネス、ノーコード・ローコード開発案件の受注が拡大いたしました。特にノーコード・ローコード開発案件では、IT人材不足の背景から需要が高まり、取引が伸長しております。また、ノーコード開発プラットフォームのSmartDB®を提供する株式会社ドリーム・アーツとパートナーシップ契約の締結を行い、受注拡大を推進してまいりました。新規サービスといたしましては、中小企業向けの伴走型支援サービス「ITあんしんサポート」の提供を開始し、IT情報メディア「cmkPLUS」(<https://plus.cmknet.co.jp/>)の発信や、大規模ITイベントへの出展により、更なる受注拡大を見込んでおります。以上の取組みにより、ゼネラルソリューションサービスは順調に推移いたしました。

② インフラソリューションサービス

インフラソリューションサービスにつきましては、オンプレミスからクラウドまで、最適なサービス提供による事業を展開しております。利益率の高い要件定義、設計等の上流工程及び社内開発案件を軸に営業活動を行い、ITメーカーの既存顧客を中心に取引が拡大いたしました。特にAWSを中心としたクラウド関連の受注が順調に拡大しております。並行してAWSエンジニアの採用強化、育成・資格取得を推進し、動員力強化及び技術力の向上を図っております。また、新規ビジネスパートナーとの協業体制確立、既存ビジネスパートナーとの連携深化による動員力強化を推進し、取引拡大を図りました。以上の取組みにより、インフラソリューションサービスは順調に推移いたしました。

③ ERPソリューションサービス

ERPソリューションサービスにつきましては、SAP社とパートナー契約を締結しており、双方の情報連携によりパートナーシップを深化させ、大企業向けSAP S/4HANAの新規導入及びアップグレード案件で受注が拡大いたしました。また、製造業向けERP生産管理パッケージシステムであるmcfameのニーズも高まり受注が拡大いたしました。さらに、技術者の育成により既存契約の単価アップと規模拡大、コンサルティング案件を主とした上流工程へのシフトにより売上が拡大いたしました。並行して、積極的な採用活動による動員力の強化も進めております。以上の取組みにより、ERPソリューションサービスは順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,822,093千円（前年同期比9.6%増）、営業利益は353,000千円（同5.7%増）、経常利益は365,444千円（同7.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は241,985千円（同3.3%増）と順調に推移いたしました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産は4,864,863千円となり、前連結会計年度末に比べ116,521千円増加（前期比2.5%増）いたしました。主な要因は、売掛金47,149千円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産58,713千円の減少がありましたが、現金及び預金193,858千円、仕掛品14,051千円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券17,951千円が増加したことによるものであります。

負債は1,492,655千円となり、前連結会計年度末に比べ58,045千円減少（同3.7%減）いたしました。主な要因は、流動負債のその他に含まれる預り金93,372千円、未払消費税等21,864千円、退職給付に係る負債18,370千円の増加がありましたが、未払法人税等39,341千円、賞与引当金135,317千円、流動負債のその他に含まれる未払費用22,278千円が減少したことによるものであります。

純資産は3,372,208千円となり、前連結会計年度末に比べ174,567千円増加（同5.5%増）いたしました。主な要因は、配当金81,439千円の支払を行った一方で、その他有価証券評価差額金11,278千円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益241,985千円を計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和6年5月8日の「令和6年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,913,095	3,106,953
売掛金	915,667	868,517
商品	147	1,176
仕掛品	48,605	62,656
その他	75,001	89,084
貸倒引当金	△38	△36
流動資産合計	3,952,477	4,128,353
固定資産		
有形固定資産	83,628	73,935
無形固定資産	13,461	10,891
投資その他の資産		
投資その他の資産	712,604	665,512
貸倒引当金	△13,830	△13,830
投資その他の資産合計	698,774	651,682
固定資産合計	795,864	736,509
資産合計	4,748,342	4,864,863
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,093	196,618
未払法人税等	65,102	25,761
賞与引当金	162,157	26,839
その他	473,490	565,209
流動負債合計	890,844	814,428
固定負債		
退職給付に係る負債	518,725	537,095
その他	141,130	141,130
固定負債合計	659,856	678,226
負債合計	1,550,701	1,492,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,398	404,398
資本剰余金	354,398	354,398
利益剰余金	2,255,774	2,416,321
自己株式	△342	△412
株主資本合計	3,014,229	3,174,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	199,333	210,612
退職給付に係る調整累計額	△15,922	△13,110
その他の包括利益累計額合計	183,411	197,502
純資産合計	3,197,640	3,372,208
負債純資産合計	4,748,342	4,864,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	5,311,970	5,822,093
売上原価	3,991,650	4,339,213
売上総利益	1,320,319	1,482,880
販売費及び一般管理費	986,260	1,129,879
営業利益	334,059	353,000
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,955	2,082
助成金収入	4,799	9,441
その他	135	921
営業外収益合計	6,890	12,444
経常利益	340,950	365,444
税金等調整前四半期純利益	340,950	365,444
法人税、住民税及び事業税	64,945	70,952
法人税等調整額	41,846	52,506
法人税等合計	106,792	123,459
四半期純利益	234,157	241,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	234,157	241,985

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益	234,157	241,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,707	11,278
退職給付に係る調整額	5,622	2,811
その他の包括利益合計	33,329	14,090
四半期包括利益	267,487	256,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,487	256,076
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	16,761千円	17,550千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、システムソリューションサービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。